



天文台だより

銀河の森天文台
2009 夏号
Vol. 44

宇宙を旅した応援メッセージが陸別に無事帰還!



NASA宇宙飛行士ジョン・フィリップスさん寄せ書き返還式
2009年4月27日 陸別小学校

2007年10月に陸別町に来町し、陸別小学校児童と交流をしたNASA宇宙飛行士ジョン・フィリップス氏が今年3月16日打ち上げのSTS-119ミッションでスペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗し、3月29日に無事帰還されました。このシャトルには、2007年に陸別小学校で交流した子供達約90名が書いたフィリップス氏への応援メッセージの布が格納されました。この宇宙を旅した応援メッセージの布がフィリップス氏より陸別小学校の子供達に返還されました。返還式は陸別小学校で4月27日に開催され、フィリップス氏の代理として、京都大学上出洋介特任教授がフィリップス氏からのメッセージの紹介や布の返還を行いました。NASAの証明書には、布は地球を202周(8,551,354km)飛行して、飛行期間は、12日と19時間29分33秒と書いてありました。フィリップスさんからシャトル搭乗員全員の直筆サインが入った写真も贈られ、そのコピーをもらった子供達は大変興奮していました。

☆トピックス「46年ぶりの皆既日食！」

「皆既日食」とは、太陽-月-地球が一直線に並び、太陽が月によって完全に隠される珍しい天文現象のことをいいます。また、月の視直径が太陽より小さく完全に隠されない場合は「金環日食」といいます。

2009年7月22日、屋久島、トカラ列島などで皆既日食が見られます。国内では1963年7月21日の北海道網走・北見地方で観測されて以来46年ぶりの現象になります。さらに今回は硫黄島沖で皆既日食が6分39秒続き、今世紀最大の皆既日食になります。この日は日本のその他の地域では、部分日食を見ることができます。陸別では、10時9分過ぎに欠け始め、11時14分頃、食分(太陽が隠される割合)が最大の0.47(約半分)になり、12時17分頃終了となります。

次回、日本で皆既日食が見られるのは、中部・関東の一部で2035年9月2日になります。ちなみに北海道では、2030年6月1日に金環日食が見られます。

スペースシャトルディスカバリー号(STS-119)がドッキングした国際宇宙ステーション(ISS)を観測!



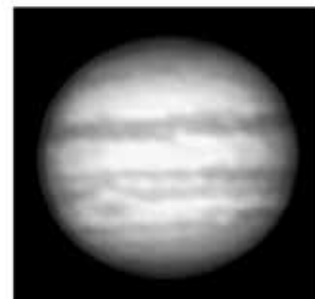
大型望遠鏡「りくり」で観測したISS
2009年3月21日 17:39 撮影

シャトルがドッキングした国際宇宙ステーション(ISS)を観測しました。このSTS-119ミッションでは、最後の太陽電池パネルの取り付けが行われ、左の写真のように太陽電池パネルが4本の姿になりました。また、このシャトルの中には、陸別からフィリップスさんへ送った応援メッセージの布が格納されていました。

暦表 (陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
7月 1日	3:44	19:13	8.3	13:36	23:40
7月 15日	3:54	19:08	22.3	22:17	11:44
8月 1日	4:11	18:51	10.0	15:39	—:—
8月 15日	4:26	18:32	24.0	22:53	14:16
9月 1日	4:45	18:04	11.7	16:16	1:03
9月 15日	5:01	17:39	25.7	0:12	15:31

8月から木星が見頃です!!



木星は今年、やぎ座の中にあります。大型望遠鏡で木星を見ると、その縞模様がはっきりと確認できます。

デジタルカメラやカメラ付き携帯電話でも簡単に木星を撮影できます。

是非、ご来館下さい。

天文行事&暦

7月

- 7 小暑(24節気:太陽黄経105°)
○満月
- 15-26 天の川と夏の天体観望会
- 22 ●新月
皆既日食(屋久島、トカラ列島)
陸別:部分日食(食分0.47)
始:10:09、最大:11:14、終:12:17
- 23 大暑(24節気:太陽黄経120°)

8月

- 3・4、10・11 天文台特別開館
- 5-16 夏の星座と天体観望会
- 6 ○満月
- 7 立秋(24節気:太陽黄経135°)
- 12・13 ペルセウス座流星群観望会
- 13 ペルセウス座流星群が極大
(AM3時 最大50個/時)
- 20 ●新月
- 23 処暑(24節気:太陽黄経150°)
- 25 水星が東方最大離角
(光度:0.3等, 離角:27° 22')

9月

- 5 ○満月
- 7 白露(24節気:太陽黄経165°)
- 16-27 木星観望会
- 19 ●新月
- 21・22 天文台特別開館
- 23 秋分(24節気:太陽黄経180°)



夏のイベント情報!!

☆天の川と夏の天体観望会

開催日時: 7月15日(水)~7月26日(日)
説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆夏の星座と天体観望会

開催日時: 8月5日(水)~8月16日(日)
説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆ペルセウス座流星群観望会

ペルセウス座流星群が8月13日の午前3時に極大時刻を迎え、これを前後して流星が多く見られると予想されるため観望会を開催します。

開催日時: 8月12日(水)、13日(木)
説明会: 午後7時30分から

☆木星観望会

今年の木星はやぎ座の中にあり、9月に見頃となります。400年前にガリレオ・ガリレイが発見した4つの衛星も並んでみる事ができます。是非、ご来館下さい。

開催日時: 9月16日(水)~9月27日(日)
説明会: 午後7時から(土曜・日曜・祝日のみ)

「発見! 銀河の森」- 町の鳥 カッコウ -

銀河の森周辺で陸別町の鳥でもあるカッコウの姿を見つけました。毎年5月中旬頃からカッコウ! と街中に響き渡る爽やかな鳴き声をよく耳にしますが、その一方で姿は意外と目にすることがなく、あまり知られていません。実際に見ると、その姿はほっそりとした鳩のような格好で、胸からお腹にかけて白地に黒い横縞の模様があります。カッコウは「種まき鳥」とも呼ばれ、カッコウが鳴き出すともう霜の心配をする必要はなく、畑に種を蒔いてもよい時期と言われています。農家の方などにとっては欠かせない、まさしく町の鳥カッコウですね。(箕)



天文台日記 - 見えない世界が見えてくる -

ガリレオが小さな望遠鏡を宇宙へ向けてから、見えない宇宙をもっと見てみたいという人間の思いは強まり、今では地球の外から宇宙を観測するまでになりました。その代表であるハッブル宇宙望遠鏡は、これまで88万回以上の観測を行い、地上では見られない美しさの天体の姿を見せてくれるだけでなく、太陽系外の惑星を見つけるなど新たな発見も続いています。先日行われた宇宙飛行士による修復により、2014年まで現役となりました。次はどんな世界が見えてくるでしょう。今ガリレオが生きていたら、なんと言うのでしょうか。(楯)



天文台からのお知らせ

☆ 8月3・4日、10・11日、9月21・22日は、月・火曜日ですが、特別開館いたします。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp